

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 **実績報告**

団体名	特定非営利活動法人 ひょうご・まち・くらし研究所	代表者名	福田 丞志
事業名	「居場所」の実態調査と望ましい形の提言事業		

**事業実施実績**

年 月 日	活 動 内 容
2015年 7月27日	コープともしびボランティア振興財団（ともしび財団という）と第1回調査打ち合わせ。「居場所」の定義について
8月28日	兵庫県社協から社協の進めるサロンについて全体像を聴く。兵庫県内の熱心な地域社協の紹介を受ける
9月1日	第2回調査打ち合わせ。アンケート調査の事務処理を方針決定。
9月3日	コープこうべの7地区活動本部のマネジャーミーティングに参加し、居場所調査の協力要請
9月9日	“宝塚市社協の佐藤寿一事務局長にアンケート協力要請。快諾を得る。西宮市社協の上野武利地域福祉課長にアンケート協力要請。快諾を得る。”
9月10日	神戸市計画調整課係長にふれあいのまちづくり協議会にアンケート協力要請、「自主的に」と回答。
9月15日	神戸市中央区社協に棚野事業部長を訪ね神戸市社協が実施している居場所政策を聞く。
9月16日	コープこうべ園田（店舗）の喫茶活動を調査、アンケートの試行も。
9月29日	第3回調査打ち合わせ。アンケート送付先リストの整理
10月8日	宝塚市社協のサロン実施関係者の協議の場に参加してアンケートの協力をお願い。
10月13日	西宮市社協の上野武利課長とアンケート質問紙の配布方法について相談。
10月22日	吹田市の居場所「モモの家」見学
10月下旬	アンケート質問紙順次郵送。
11月5日	ともしび財団と正式に「居場所調査事業研究会」を設置し、第1回研究会を開く。訪問調査の訪問先の選定。
11月7日	ともしび財団スタッフ、訪問調査開始、スタッフが手分けして6か所を訪問。12月18日まで。くらし研は7か所を16年3月14日まで調査。
11月9日	アンケート入力作業開始、アルバイト雇用. とびとびで12月14日まで
12月15日	第2回居場所調査事業研究会開催。アンケートの第1次分析
2016年 1月24-25日	福岡県大牟田市先進市視察
2月2日	第3回居場所調査事業研究会開催、アンケート分析、大牟田市調査報告。
3月1日	ひょうごボランティアプラザ中間報告会
3月29日	第4回居場所調査事業研究会開催、調査の総まとめ。

## 効果と成果

いま「居場所」が注目されています。みんなで集まってお茶を飲んでおしゃべりを楽しむ場所です。一人暮らしになったりするとそこでのおしゃべりが大事な機会になってきます。

阪神間のある居場所の話です。そこは NPO のスタッフや生協の組合員などが運営にかかわっていますので、いつもいろんな人がお茶を飲みに来ます。民生委員・児童委員や社会福祉協議会のケースワーカー、PTA の役員さん、婦人会の会長さんもやってきて、なかなかにぎやかな場となっていました。

学校が冬休みになる前のことです。学校給食がなくなると家庭で食事がとれなくて、大変なことになりそうな児童がいることがわかりました。その「居場所」にいつもの顔ぶれが示し合わせたように集まりました。「とにかく、1日1回だけでも食事を提供しよう」と意見はすぐにまとまりました。あとはそれぞれの個人や団体が今持っている資源—おコメやおかずの材料、炊事器具、食器、そして調理をする人と場所—をどう調達して、どの順番に実行していくかを決めなければいけません。ふつうはここで時間がかかるのですが、いつも顔を合わせているメンバーですからあっという間に決定。翌々日からミニ子ども食堂が開設されました。

これこそ「居場所」の効能です。

## 収支決算書

### (収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	386,000
自己資金	0
合 計	386,000

### (支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	人件費	91,500	91,500
	交通費	138,110	138,110
	通信費	84,429	84,429
	雑費	2,160	2,160
	小 計	316,199	316,199
間接経費(一般管理費)		69,801	69,801
合 計		386,000	386,000